

介護プロフェッショナル

段位取得による認知症利用者対応

当法人では人材の育成・定着が課題とされている事も有る為、この段位認定制度を通じ、主に新入職員のスキルアップを図り、定着させる事に取り組んでいます。

所内にて定期的にカンファレンスを開催しています。特に認知症ご利用者の残存能力を活かしたケア(言葉かけの工夫や、具体的に入浴や排泄介助等の場面を想定しながら)というのを他職員に対し共通認識として持って頂けるよう段位認定の項目を活かして質の向上を行っています。

STEP1

段位認定の「状況の変化に応じた対応」の小項目を活かし、カンファレンスを定期開催しています。



STEP2

「認知症の方がいつもと違う行動をとった場合に対応ができる」という小項目に基づき、4DAYSシート等も活用し、ご利用者の今まで生きてきた背景や性格を深く掘り下げた事で、ご利用者本位の言葉掛け・対応が出来るようになってきたように感じます。



STEP3

STEP2のアプローチにより、ご利用者各々が得意な事・好きな事を、認知症プログラムの一環でもある「役割支援サービス」として提供する事で、傾眠の方が日中積極的に活動するようになったり、徘徊の方がフロア内で集中して作業に取り組むようになりました。



STEP4

チームの状況変化としては、第三者評価でのご利用者満足度が全項目80%以上を獲得できました。また、介護度は昨年の同時期と比較し、改善までは至っていませんが、全員「維持」ができています。



段位取得者
弥生デイ 大木 祐里枝



スキルと共にキャリアアップを図る事で、当該職員のモチベーション向上だけでなく、事業所内の他職員への意識強化にもつながればいいな、と感じています。(実際に大木職員は他職員の模範となり、率先して職員育成や業務改善を行い、介護技術のみならず理念浸透等においても、組織としての統一化を図ってくれています。)

また、OJTを通じたカリキュラムとなっている為、当該職員の不安を解消し、自信を持って介助業務に取り組める事ができるという点も、この段位認定制度の魅力だと思います。大木職員はじめ、今後もこの制度を利用して事業所内の介護力の底上げを図り、地域に貢献できる人材を多く輩出出来ればと考えています。アセッサー 弥生デイ責任者 高橋 しずか

地域貢献活動 コミュニティカフェ特集

～第7回目～

特別養護老人ホーム主催の認知症カフェ「佐野オレンジサロン」

開催場所: ForYouCafe (特別養護老人ホーム 奉優の家)



サロンののぼり

佐野オレンジサロンは、奉優会が運営する特別養護老人ホーム奉優の家主催の認知症カフェです。毎月第2金曜午後2時より併設するコミュニティカフェ ForYouCafeで開催しています。どなたでも参加でき参加費は1回50円で、施設の本格ドリップコーヒーもお楽しみいただけます。

毎月テーマを設けて、ご入居者と桜並木をお散歩したり、お抹茶を頂きながらおしゃべりしたり、この佐野オレンジサロンの参加をきっかけにご入居者と地域の人々の交流の場となっています。

座談会形式で開催し、特養の看護師による健康相談や管理栄養士による栄養相談、施設が連携している歯科医、薬局や食品メーカーの方にもご協力いただき、血管年齢測定や骨密度測定なども実施しています。



参加者と入居者でお花見散歩



薬剤師による個別相談



骨密度測定会

平成29年度 開催内容

- 4月 お花見散歩
- 5月 お茶会
- 6月 紙芝居
- 7月 水分摂取について
- 8月 お口の健康
- 9月 薬のリスク
- 10月 血管年齢測定
- 11月 骨密度測定
- 12月 大掃除のコツ
- 1月 腸内環境改善
- 2月 ハンドケア
- 3月 高齢者疑似体験



お抹茶ふるまい



血管年齢測定会

法人最新情報

優っくり村 乃木坂 4月1日オープン!

2018年4月1日に奉優会では9か所目の小規模多機能型居宅介護施設「優っくり村乃木坂」がオープンいたします。44階建の高層ビルの2階にあり、同じ2階には港区立の「みなと保育サポート赤坂」が入り、3階以上は高級マンションとなっています。場所は東京ミッドタウンに近く、港区立檜町公園やそれに続く広大な芝生広場を望む、都心でありながら自然があふれる環境です。



このたび2018年4月、小規模多機能型居宅介護事業所「優っくり村乃木坂」が開所いたします。目の前に広がる東京ミッドタウンには、四季を楽しめる公園や美術館もあり、様々な文化が楽しめる環境となっております。大都市ならではの新価値をもった小規模多機能型居宅介護をめざし港区の皆様にご満足いただけるよう頑張ります! 事業部長 川口 有美子

事業概要 小規模多機能型居宅介護
登録定員 25名・通い 15名・泊まり 9名

連絡先 〒107-0052 東京都港区赤坂9-4-2
パークコート赤坂檜町ザ タワー2階
TEL: 03-6804-5267 FAX: 03-6804-5268
※4月より開通

For You 新聞 2018 February Vol.8

社会福祉法人 奉優会(ほうゆうかい) 法人事務局 154-0012 東京都世田谷区駒沢1丁目4番15号 真井ビル5階

TEL: 03-5712-3770 FAX: 03-5712-3771 http://www.foryou.or.jp/



安心で豊かな福祉サービスをあなたに。

-Vol.8-

For You 新聞
2018 February

「本人ミーティング」で暮らしと地域を一緒に創る新たなステージへ

認知症介護研究・研修東京センター 研究部長 永田 久美子



- 皆さんには本当に感謝してる...でも自己満足では...
- やっとそばに来てくれた~と思ったら、(職員さんは)聞きたいことだけ訊いてさっといなくなる。話しをしたいことがあって、待ってるんだけど。
- なんでも言ってください、とよく言われる。でも話したくてもそんな感じじゃない。
- やさしいようで、みんな、私を素通りしていく。本当の私のこと、誰もわかっていない。自分が消えていってしまえそう。こわい。
- 自分の店をよくするためにお客の声を必死に聴いて毎日工夫した。(入居して)びっくり。声を大事にしない。この業界、ものすごく時代遅れ...

これらは認知症の人たちがつぶやいた声の一部です。認知症がかなり進行して、周囲からは「会話が難しい」とみなされていた人も含まれています。これらの声に触れて、私はとてもドキとしました。本人の声を聴くことはケアの基本の基で、本人の声を聴いていたつもりだったけど、本人が本当に伝えたいことを聴けてなかったのでは?

認知症の人は確かに言葉が出にくくなりますが、話せるチャンス、声を聴こうとする人がいないために話せなくなっている人、声を出すことを諦めてしまっている人が大勢います。その過程で意欲や希望を失い、存在不安や混乱を強め、生きる姿が急速に萎んでしまっている無念な人も後を絶ちません。

Profile 永田 久美子(ながた くみこ)

千葉大学大学院看護学研究科修了。看護学生の時代に、「ぼけ老人を抱える家族の会」に出会って以降、病院、施設、地域で認知症の人と家族を支える活動を続ける。東京老人総合研究所を経て、平成12年から認知症介護研究・研修東京センター勤務。認知症の本人と家族が共に安心して自分らしく暮らしていけることを支えるために認知症の本人支援、医療とケアとの協働、地域ぐるみの支援の普及に取り組む。著書多数。

問合せ先

本人ミーティング: office@jdwg.org (日本認知症本人ワーキンググループ事務局)
奉優会 等々力の家居宅介護支援事業所: todoroki-kyotaku@foryou.or.jp

声は一人ひとりが生きていこうとしている大事な証であり、どんな暮らしをしたいか、何が必要かを具体的に表している道標です。

今、本人の声をめぐって全国で新たな取り組み「本人ミーティング」が広がっています。本人同士が体験や思い、希望を話し合う話しあいです。家族やケア職員が「もう言葉が出ない人」「話しあいなんて無理」とみなしていた人が、仲間との存在やその語りや触れられて思いがけない声を発し、周囲が驚かされています。一人ひとりがこんな思いでいたんだ、こんなしたいことがあったんだ、家族や周囲、地域をこんな風に見ていたんだ、等々、本人ミーティングで語られる声の中には、日々の暮らし、そして地域を暮らしやすいものにしていく手がかりが豊富にあふれています。話しておしまいせず、出た声の願いを一つからでも、本人と周囲が一緒にかなえていこうというアクションを重視した取り組みです(厚生労働省ホームページ:本人ミーティング開催ガイド参照)。

本人がふだん話しているようでも、本人同士で自由に伸び伸び本音を語りあえているでしょうか?これからは介護施設が、入居者、そして地域の本人たちが出会い、本音で語り合い、本人とともに(ささやかな)願いを叶えるアクションを一緒に生み出す場になっていくことができる、もっとより良い日々を過ごせる人が確実に増えることでしょう。そして職員や家族、地域の人たちがその声や姿に触れ、自然と生き生きと伸びていける貴重なジャンプボードになっていく可能性が大きい。どうぞちょっと一緒に、本人ミーティングにトライしてみませんか?



より良い地域福祉をめざして。

私たちは地域の方々が安心して住み続けられるよう、さまざまな工夫を続けています。その中で、各事業所の実施している活動の様子を事例でご紹介いたします。

地域包括ケア ～板橋区仲町地域包括支援センターの取り組み～

認知症の方を見守る地域を作る！声かけ訓練「中板橋商店街編」

認知症の高齢者が徘徊の末、事故に遭うことがたびたび報道されています。仲町地域包括支援センターが担当している地域は、近隣に東京都健康長寿医療センター等の大型病院や大規模複合型介護施設等があるため多くの高齢者が行き交い、また国道254号線(川越街道)や東武東上線があり交通量が多く、踏切もあるため認知症の方が交通事故に遭遇する確率が高い環境と言えます。

このような環境から、「認知症の方を見守る地域を作る」必要性があると考え、地域の方を中心に板橋区職員、警察、医師、町会、介護サービス事業者など様々な職種の方々へ参加を呼びかけ、平成28年11月より毎年1回「認知症声かけ訓練」を開催することになりました。

私
が
ご
報
告
し
ま
す！

東京都板橋区
板橋区仲町地域包括支援センター
(仲町おとしり相談センター)
保健師 田辺 里美



「認知症の方への声かけ訓練」開催！平成29年11月25日(土)

当日は医師による認知症についての講演や声かけの注意点を学び、その後、3人以上のグループで商店街へ出て、5つのポイントに居る認知症の方へどの様に声をかけたらいいか、という訓練を実施しました。

訓練の流れ

- STEP 1 医師による講演
- STEP 2 注意点の確認
- STEP 3 グループで声掛け
- STEP 4 グループワーク・発表
- STEP 5 警察による講演
- STEP 6 訓練終了

認知症の方に声をかける時に気をつけること

- 声かけ「3つのない」
- その1 驚かせない
 - その2 急がせない
 - その3 自尊心を傷つけない
- 声かけ「7つの対応」
- 1 まずは見守る
 - 2 余裕を持って対応する
 - 3 声をかける時は1人で
 - 4 後ろから声をかけない
 - 5 相手に視線を合わせてやさしい口調で
 - 6 おだやかに、はっきりした話し方で
 - 7 相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する

INTERVIEW



認知症の方に声をかけることは想像以上に難しく、初めて声かけるのは勇気のいることです。慣れるには経験が必要。いろいろな人に訓練に参加してほしいです。今回も多くの方が訓練に関わり、とても熱心に取り組まれました。これが地域のみんで見守るということなのかも知れませんね。訓練参加者：石川 正男さん



認知症役として参加しました。初めは声をかけてくれる人が何と言ってくるのか不安でしたが、皆さん優しく対応してくれました。この訓練は地域の住民が集まるきっかけ作りにもなると思います。町のイベントに参加を呼びかけても出てくる人は少ない。今後はもっと多くの方に参加してもらい、認知症の方が外を歩いても誰かが気づき、声をかけ見守る地域を作っていきたいです！ 認知症役：宇山 功さん

奉優会の

取り組み

小規模多機能で

高次脳機能性障害のご利用者が自立した事例

看護・介護連携による支援

奉優会の小規模多機能では顔なじみの専門職(看護・介護)が、ご本人が住み慣れた地域で暮らしていけるよう、日常生活に繋がる「リハビリ」支援も行っています。優つくり村喜多見で「くも膜下出血による高次脳機能性障害」と診断されたご利用者を小規模多機能の専門職が連携しながら支援したケースをご紹介します。Kさん、51歳女性。くも膜下出血、高血圧症、左片麻痺と診断。看護によるバイタル管理と階段昇降やウォーキングなどの機能訓練、介護による「日常生活リハビリ」として家事活動の支援をしました。その結果、現在ではサービスの必要がなくなり自立することができています。

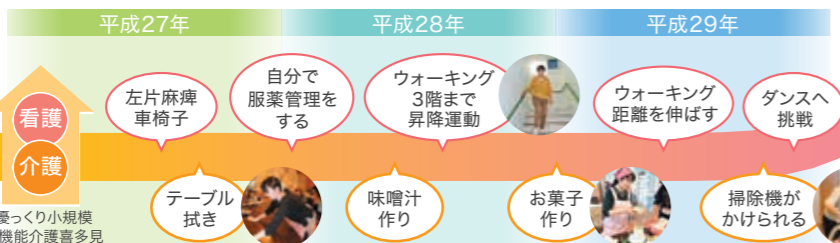


優つくり小規模多機能介護喜多見(世田谷区)



自立した日常生活

高次脳機能障害とは
脳損傷に起因する認知障害全般を指し、失語・失行・失認のほか記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などが含まれます。



くも膜下出血による高次脳機能障害の発症

優つくり小規模多機能介護喜多見

認知症対応 ～石神井台地域の共生社会づくり～

私
が
ご
報
告
し
ま
す！

東京都練馬区

優つくりグループホーム
石神井台沼辺

責任者 幸田 礼人



認知症の方が主役のカフェ&交流イベント 開催場所：優つくり村石神井台沼辺

優つくり村石神井台沼辺では、認知症になっても誰かと繋がり、支え合い、地域社会の中で活躍できることを目指し、地域の人が気軽に集える施設として、カフェや交流イベントを開催しています。

「ゆっくりカフェテラス」は隔月開催し、ご利用者が主体となり、手作りのスイーツ・お飲み物で地域の方々をおもてなしします。また、障害福祉サービスの就労支援A型事業所「ワークスタジオWel」と協働し、カフェの中でポップコーンの販売をしていただいています。

平成29年度からは、「しゃくじい台ニング」と称して、地域の親子さんが気軽に参加し、一緒にお食事を楽しめるイベントを開催しています。8月は近所の竹林でご利用者と一緒にとった竹を使って流しそうめんを行い、11月は施設の畑でご利用者と育てたお芋と、近所の畑からいただいたネギで芋煮会を開きました。12月には子ども食堂も開催しました。

その結果、石神井台地域で高齢者も障がい者も親子も、地域の皆様が優つくり村石神井台沼辺でカフェや交流イベントを通じて繋がり、支えあって活躍できる場をつくりあげていく共生社会づくりができました。

【地域のつながりイメージ図】



社会参加活動 ～広がる社会参加の輪～

奉優会では地域交流の懸け橋となるべく様々なイベントを開催しております。皆様の社会参加を支援し、地域の活性化に寄与します。

地域で認知症高齢者を見守る取り組み

「オレンジリングネットワーク」

開催場所：城東/亀戸ふれあいセンター
～認知症サポーター養成講座卒業後の支援～

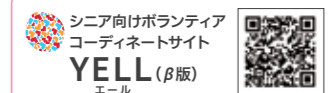
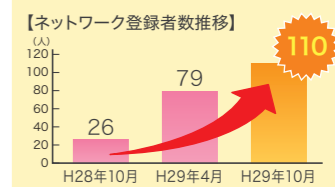
オレンジリングネットワークは、認知症サポーター養成講座卒業生の「卒業後に何をしたらいいかわからない」「一人で活動するのは不安」という声から、ふれあいセンター職員が中心となって、平成28年10月より始まった認知症高齢者を見守りネットワーク活動です。

現在は、認知症サポーター養成講座卒業生を中心に、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる地域づくりを目標に「専門家を招いての勉強会」「グループワーク」「認知症予防エクササイズ」など、様々な活動を行っています。また、3月には「オレンジリングフェスティバル」と題した認知症を学ぶイベントの開催も予定しています。今回は城東ふれあいセンターの初期登録メンバーである畦地充子(あぜちみつこ)さんにお話を伺いました。

参加者インタビュー 畦地 充子(あぜちみつこ)さん



普段は区内の介護施設を中心に、ハーモニカ演奏のボランティア活動をしています。その活動をしていく中で、認知症について勉強する必要性を感じ、認知症サポーター養成講座を受講しました。受講後、認知症についてもっと具体的に学びたい、活動したいと考えていたところ、オレンジリングネットワーク活動を知り、参加することにしました。この活動に参加してよかったのは、これまで全く知らなかった方とお知り合いになることができることです。そして、体験されたエピソードや様々な想いを聞かせていただき、とても貴重な体験をさせてもらっています。これからもこの活動を通して、たくさんの方とお友達になり、地域のつながりを広げていくことで、認知症の方でも安心して暮らせる地域づくりに協力していきたいです。



https://www.foryou-yell.net/

働きやすい **職場環境** の取り組み



奉優会は女性の活躍を推進しています！

今年度も育休中の多くの女性職員がお子さんの保育園入園を機に復職しました。本年度現時点で、**復職率は100%**！一人も退職者を出すことなく、仕事復帰して頂きました。

毎号、育児をする女性をバックアップする奉優会独自制度を利用して復職した職員を紹介しています。奉優会職員のすごいところは、こういった制度を活用し短時間勤務で母や妻としての生活も維持しつつ、職場でも部長や課長など重責を担う役職につき、成果をあげている職員が数多くいることです。今回は男性職員が育休を取得し仕事と生活の両立についてお話も聞いてみました。

特別養護老人ホーム等々力の家



介護課課長 **神吉 大輔さん**

第二子が産まれるタイミングで、育児と家事の為に2週間の休暇を頂きました。理由は、妻一人で息子(2歳の男子)と産まれたばかりの娘の面倒を見るのは大変だと思っていたからです。実は、第一子の出産後から「次は取得をしよう!」と心に決めていました。

職場では、上司・同僚・部下から応援の言葉をいただき、心苦しく思っていた気持ちがなごみました。育児と仕事の両立を支援するという法人の方針が浸透しているからこそ、職員同士が理解し、協力し合う風土が出来ているのだと実感しております。

せせらぎデイサービスセンター



介護職 **守友 林沙さん**

初めての出産・育児に不安だらけでしたが、奉優会は育児支援制度が厚く、仕事を続けるという道を選ぶことができました。

育児休暇は子どもが1歳の誕生日を迎えるまでいただいたのですが、休暇中は日々成長していく我が子を側でみることができ、とても感謝しております。私は認可保育園に入ることができなかったため、無認可保育園の費用を一部負担していただける奉優会独自の制度「**for優キッズサポート**」も心強かったです。

現在は時短勤務で復職させていただいており、とても温かく協力してくださる職場の仲間感謝の気持ちでいっぱいです。

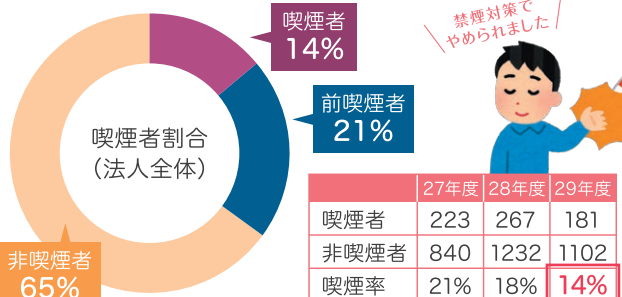
「働き方改革」の実現に向けて!

奉優会では職員が健康で永く勤められるための仕組み作りを働き方改革の重要な取り組みの一つとして推進しています。その一つとして、平成22年より「喫煙者ゼロ推進」を取り組んで来ました。

禁煙対策の歩み

- STEP1 HPで禁煙PJの取組を紹介
- STEP2 入職承諾書で禁煙を宣誓 ▶ 喫煙率を上げないために、喫煙者を採用しない (新卒・中途)
- STEP3 禁煙アンケート実施 ▶ 禁煙状況の把握
- STEP4 禁煙に関する周知活動 ▶ 研修で、禁煙の必要性を指導
- STEP5 希望者への禁煙支援 ▶ 禁煙者を少しでも増やす

平成27年度の喫煙率21%に対して、平成29年度は**14%**へ激減!



活力ある人材

平成31年度(2019年3月卒) **新卒募集!**

“高齢者が好き”という気持ちが、この仕事への第一歩 多彩な専門職の先輩たちが知識や技術をゼロからお教えします。

奉優会のここが違う!!

年間休日**122日!**

サークル活動が盛ん!

多彩なキャリアプラン!

充実した研修制度!

■ 法人説明会 ◀ 随時開催!

・管理本部(世田谷区駒沢)

■ 施設見学会 ◀ 随時開催!

- ・等々力の家(世田谷区等々力)
- ・白金の森(港区白金台)
- ・マイホームはるみ(中央区晴海)
- ・奉優の家(足立区佐野)
- ・かわいの家(横浜市旭区)

連絡先

人事部 人事課新卒採用担当

TEL:03-5712-3770

E-mail:jinji@foryou.or.jp

HP: <http://kaigo.foryou.or.jp/graduate/>



応募お待ちしております!



奉優会で働く



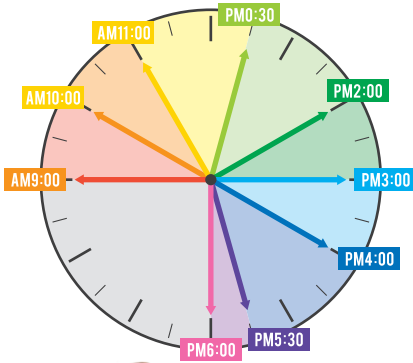
奉優会は様々な高齢者福祉事業から地域福祉事業へ展開しています。地域福祉で私たちと一緒に働きませんか。
 今号は奉優会の高齢者施設事業部(優ったり村)とそこで働く職員をご紹介します。

高齢者施設 (グループホーム) 事業部紹介

高齢者施設事業部は、「ゆっくり・一緒に・楽しく」をコンセプトに、「小規模多機能型居宅介護」「グループホーム」「単独型ショートステイ」「地域密着型特別養護老人ホーム」「ケアハウス」の5つの事業を運営し、幅広く高齢者を支えています。特に、高齢者が持っている力を、地域貢献へコーディネートする活動に力を入れています。
 想像力がとても大切で、認知症や障害があってもちょっとしたアイデアで「支え手」として活躍されます。その活動を通じて、支えなければならない人という高齢者のイメージの払拭や、地域の中で高齢者へ目を向けてくれる人が少しでも増えてくれればと思います。

1日の業務スケジュール

優ったりグループホーム石神井台沼辺
 介護職員 下村早希



ご利用者と
 笑顔を共有できる
 お仕事です!



- AM9:00** 出勤、朝礼
 ・申し送り(夜間の様子、本日の予定)
 ・連絡事項、ケース確認、バイタルチェック
- AM10:00** 日常活動
 ・排泄、洗濯物干し、10時のお茶、買い物
 (ご利用者と一緒に)
- AM11:00** 活動、入浴
 ・体操 ・入浴 ・昼食準備
- PM0:30** 昼食
 ・手洗い促し・配膳・服薬
 ・口腔ケア・排泄
- PM2:00** 申し送り
 ・午前中の様子・午後の予定・入浴
- PM3:00** おやつ
 ・おやつ準備・片付け・排泄
- PM4:00** 記録
 ・ケース記録入力
- PM5:30** 夕食
 ・手洗い促し・配膳・服薬
 ・口腔ケア・排泄
- PM6:00** 退勤

※早番7:30、日勤9:00、遅番11:00、13:00
 夜勤22:00シフトによりスケジュール異なります。

キャリアアップ経緯

優ったりグループホーム杉並岩掛
 課長職(事業所責任者)

佐藤 祐樹

- 平成25年1月 優ったり小規模多機能介護池尻
 正職員
- 平成28年1月 田道小規模多機能居宅介護
 STEPUP! 正職員
- 平成28年7月 優ったり小規模多機能介護新宿西落合
 STEPUP! 主任
- 平成29年8月 優ったりグループホーム杉並岩掛
 STEPUP! 課長

未経験から始めた介護の仕事。「ゆっくりやっていたらいいよ」と当時の上司から声をかけていただき、のびのびとした気持ちで、そして日々やりがいと楽しさを感じ学ばせていただきました。
 今でもガッツと信念を胸に抱き、ご利用者や職場の仲間魂をゆさぶる気持ちで、介護士・管理者として様々な事を経験し更なるキャリアアップに向けて、日々精進していきたいです。



高齢者施設事業部 (優ったり村)

躍進する高齢者施設事業部



高齢者施設事業部では、・ショートステイ・小規模多機能型居宅介護・ケアハウス・グループホーム・地域密着型特養と5つの事業を運営し、在宅サービスから入居サービスまで幅広く支援しています。サービスごとに求められる役割や目標が異なりますので、働く職員も身につく知識・技術・経験が変わってきます。「新しい業務にチャレンジしたい」「専門資格をとったので違う職種にチャレンジしたい」「得意な料理を活かして働きたい」など、希望に沿ってジョブローテーションを進め、人材育成や成長につなげています。



Pick Up!

求人
 内容

所属: 高齢者施設事業部
 勤務先: 世田谷区・練馬区・杉並区・新宿区・千代田区・中央区
 目黒区・港区・渋谷区・町田市
 内容: 小規模多機能介護・グループホーム・ショートステイ
 地域密着型特養・ケアハウス
 TEL: 03-5712-3770 管理本部人事課

求める
 人材

- ・情熱をもっている人・笑顔が素敵な人
- ・何事にも挑戦できる人・前向きな人
- ・人と接するのが好きな人・心優しい人

奉優会求人サイト



詳しくは
 こちらへ!

<https://kaigo-foryou-job.jp/>